

画像が不鮮明な点、ご容赦願います



510

2017



平成 29 年 4 月



横浜発明振興会

〒231-0016

横浜市中区真砂町3-33 セルテ11階
よこはま市民共同オフィス内

TEL/FAX 045-664-9070

URL: <http://yokohama-hatsumei.com>

今月の行事

第581回 ハマ発明教室

とき 平成29年4月9日(日)
PM 1:00~4:30

ところ なか区民活動センター 研修室
横浜市中区日本大通35 中区役所別館

1. 発明研究会
「会の運営について」
ディスカッション
2. 第44回 ハマ発明教室発表作品展示
コンクール
3. お知らせ、その他

5月のハマ発明教室 予告

とき 平成29年5月14日(日)
PM 1:00~4:30

ところ 横浜市技能文化会館 801研修室
横浜市中区万代町2-4-7

1. 作品の発表とディスカッション
2. 発明研究会
テーマ: 未定
講師: 未定

3. お知らせ、その他

特許審査 満足度高まる

特許庁 質・速度の改善奏功

特許庁が進めている審査品質向上に向けた取り組みが実を結んでいる。特許審査に対するユーザー評価で「満足」と「比較的満足」の回答が合計57%(2016年度)に達し、評価開始の12年度に比べて2倍弱に増えた。アンケートや有識者会議など外部の意見を積極的に政策に反映したことが奏功した。知財戦略は企業の技術革新や世界展開、模倣対策に欠かせない。特許庁は今後も特許や意匠、商標の各審査の質、速度向上を図り、企業活動を側面支援する。

最新調査によると、特許審査では拒絶理由通知書の記載や進歩性の判断などユーザーが重要視している項目で評価が上がった。一方、外国特許文献の調査や判断の均質性については相対的に評価が低く、今後、審査官同士の調査ノウハウ共有などを進める。

意匠については、審査官とのコミュニケーションで高評価を受けるなど「満足」と「比較的満足」の合計が全体の約60%を占めた。商標も同割合が約50%に達した。特許、意匠、商標ともに満足度が高まる結果となった。

商標については、歴史上の人物名をめぐる異議申し立てなど、話題が多い。特許庁は審査官の判断にバラツキがないか重点的に確認するとともに、審査傾向を共有するなど、識別性や均質性を改善する。

特許庁は14年に品質監査を実施する約90人の品質管理官を配置するとともに、実施体制を評価する有識者会議「審査品質管理小委員会」を産業構造審議会(経済産業相の諮問機関)の下に設置。審査の妥当性を検証し、審査官や管理職にフィードバックしてきた。(日刊工業新聞3月29日)

====も く じ=====

研究会の案内 2
ハマ発明教室報告 2, 3
情報提供、お知らせ 3, 4

【2, 3 ページ抜粋】

第 580 回ハマ発明教室(日曜発明教室)報告

第 580 回アイデア作品発表

<u>作品名</u>	<u>発表者</u>
①スマートキーを 隠しキーにしたい	桑井 旭 氏
②顕微鏡に変身するハイブリッド型 容器・包装箱	石井 栄 氏
③チェックボックス 9-52	小泉 紀四 氏

○総投票数 16 票の中から
次の方の作品が受賞されました。

『最優秀賞』

③**チェックボックス 9-52** 小泉 紀四 氏

『奨励賞』

①スマートキーを
隠しキーにしたい 桑井 旭 氏
②顕微鏡に変身するハイブリッド型
容器・包装箱 石井 栄 氏